

令和6年3月28日

長崎リハビリテーション学院
学院長 鳥山 雅之 殿

学校関係者評価委員会
委員長 美野田 哲夫

令和5年度 学校関係者評価報告について

令和5年度自己評価に対する学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 山下 均 (鈴木病院 リハビリテーション科科長 理学療法士)
- ② 岩永真仁 (南野病院 リハビリテーション科科長 作業療法士)
- ③ 福田優希 (長崎みなとメディカルセンター市民病院 言語聴覚士)
- ④ 平野英三 (元同窓会会長 愛野記念病院)、副委員長
- ⑤ 橋口研一 (大村市赤佐古町 町内会長)
- ⑥ 広田耕二 (長崎県立大村高等学校 教頭)
- ⑦ 美野田哲夫 (元長崎県教育庁)、委員長

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第3回委員会 令和6年3月22日 (会場 長崎リハビリテーション学院)

3 学校関係者評価報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標1. について

学院ブランディング化の推進(学校広報)については今年実施した地域貢献活動を継続的に実施してほしい。また、卒業生(同窓生)への働きかけを積極的に行い学院単体ではなく、周りも含め盛り上げてほしい。

募集力強化(募集広報)は例年と同じ取組に加え、受験生へ届く広報活動としてデジタルパンフレットの作成、YouTube 広告や Instagram の情報発信強化を実施した。

入学者が目標数値に達しなかったことについては、原因分析をして次年度につなげてほしい。選抜試験は募集要項にもとづき、適正に実施されている。

2 重点目標2. について

ICT 活用教育推進委員会は年間計画に則り計画的に実施できているが、来年度が完成年度のため必要な準備等を怠らないよう取り組んでほしい。

また、教員の ICT 活用を積極的に実施して、教員間の教授力に差が生じないよう今後も計画的な取組を期待したい。

転退学者防止の仕組み作りとして、クラス担任を中心として学科教員での支援体制と学生相談室との連携を引き続き取り組んでほしい。

勤怠管理システム導入により各教職員の勤怠状況が各個人等で把握できている。業務の見える化により、教員の過剰勤務(時間)についてはしっかり管理(指導)を行ってほしい。

3 重点目標3. について

教職員の目標シートによる年度ごとの振り返りをしっかり行い、次年度に活かしてほしい。

言語療法学科の指定規則改正に向けて早めの準備を行ってほしい。

臨床実習の評価として全学科に客観的臨床能力試験(OSCE オスキー)を導入し、実習中の学生の躓きが減少しているため、引き続き OSCE の精度を上げ、より臨床に近い教育を行ってほしい。

引き続き早期から講義等で国家試験問題に触れる機会を多くして、国家試験合格率の向上に向けて全学科教員で取り組んでほしい。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

教育理念に基づき、教育目標を掲げて人材を育成することを目指して取り組んでいる。
言語療法学科は次の指定規則改正(2024年施行)に向けて準備・対応を行っている。
2025年度に新学習指導要領により高校でICT教育を受けた学生が入学することを見据え、学内のICT教育体制整備を整える準備を行っている。

2 学校運営

学院単年度目標の大項目を掲げ、それを更に中項目、小項目に再分割し、具体的目標の達成に向けて取り組んだ。また、9月に中間評価を実施し目標の進捗状況の確認をした。目標に到達していない項目については目標達成に向けて後期、具体的に取り組んだ。
学院運営規定に則り、各種会議および教務・校務を遂行した。
向陽学園本部と定例会において学院実施報告ならび実施計画等の提案を行い、決裁ならびに指示を得て実施している。また、現場サイドと経営サイドの連携強化に努めている。
教育活動が充実するように経営サイドとしっかり対話を深めてほしい。

3 教育活動

学院単年度目標の一つに教務力向上と国家試験合格率の向上を目標に学院あげて取り組んだ。学校指定規則等への対応と経過確認を行った。また、各実施科目の内容確認と検証を行い、R6年度の新入生からPT学科とOT学科は新教育課程表に移行するため、スムーズな移行ができるように、準備をしっかりと行ってほしい。
授業評価アンケートの実施率については向上しているが、学生の回答率が低い科目もみられるため実施方法の更なる検討が必要である。また、実施後の活用についても検討が必要である。授業評価アンケートは教員と学生とのキャッチボールできる手段の一つなので、学生の声をしっかり受け止めて活用してほしい。

4 学修成果

各学科が年度当初からしっかりと国家試験対策の指導体制をとり、全教員で合格率の数値目標を掲げて取り組んだ。国家試験対策は、1、2年生の早期から取り組み、さらなる合格率の向上につながる指導を期待したい。
求人数は全学科、昨年よりも多い状況である。また、内定者数も昨年よりも多い状況である。就職後状況調査から入職後に学生に期待するものとして、報連相ができる、コミュニケーションスキルが高いなどが施設側の入職時に期待する事項のため、学内教育を更に充実させてほしい。

5 学生支援

各学科で基本的なサポート体制を整え学生対応に当たっている。また、学生相談室には公認心理士の教員を配置し各担任と互いに連携し対応にあたった。月別の学生相談に関する報告書を作成し、いち早く学生状況の把握に努めている。引き続き学生と教員との信頼関係づくりのために日頃から声かけや相談しやすい体制づくりを心掛けてほしい。

中途退学の原因をより詳細に分析し、今後の学生の傾向から退学のリスクを早期から発見し、対応できるように努めてほしい。

保護者面談は概ね好評を得ており、学院への意見を吸収する良い場になっている。保護者の意見を学院・学級の運営に反映できるように努めていきたい。

6 教育環境

カフェテリアを併設している図書館を設置しており、学生が適切な教育環境の下で学習に取り組むことができるように整備し、学生が利用しやすいよう工夫されている。

本館の施設内において経年により改修が必要な部分もあり、計画的に改修を実施していく。

臨床実習については全ての学科で学外実習を実施することができた。今後も実習施設とは連携のとれた教育ができるよう信頼関係を構築していく必要がある。

防災訓練については土砂災害防止法に基づく「学校避難確保計画」を策定し、学生および教職員全員を対象に防災教育及び避難訓練を実施している。

災害についてはあらゆることを想定して早めの対策をこれからも講じて下さい。

7 学生の募集と受入れ

高校訪問や学校ガイダンスなど例年の取組に加え、今年は特に SNS(Instagram)の発信を特に強化した。また、デジタルパンフレットの作成や YouTube 広告も実施したが、入学者は目標数を下回った。次年度は広報活動の効果判定を客観的にできる方法を検討してみて下さい。少子化の影響は大きいですが、原因をしっかりと分析して、引き続き効果的な募集活動に取り組んでほしい。選抜試験は受験生が受験しやすい選抜方法等を検討して受験者増に取り組んで下さい。

8 財 務

財務は健全性と安全性を重視し計画的に施行されている。対応については前年度と同様に行っている。

9 法令等の遵守

専修学校設置基準および養成施設指定規則等の関係法令にもとづき、就業規則をはじめ学院組織運営規程等を整備し適正な運用がなされている。相談窓口について、学生は「学生相談室」、教職員向けに「向陽学園職員相談窓口」を設置している。引き続き学生相談室と担任との連携の強化に努めてほしい。

ハラスメントに関する掲示物等を学内掲示した。

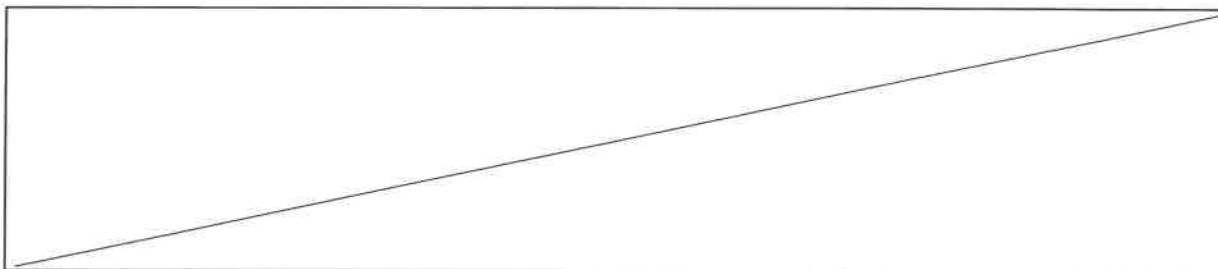
必要な情報公開については適宜、更新を行い実施している。(自己評価、学校関係者委員会報告書等)

10 社会貢献・地域貢献

高等学校生徒の学校見学会の受け入れ（4件）や出前講座（3件）などへ教員を派遣し、職業指導や進路指導に協力した。学生ボランティアの依頼も少しずつ増えてきており、今年度は延 28 人の学生が地域から依頼のボランティアに参加した。

学生主催のボランティア活動(地域の発達障害児と保護者対象)が休止状態である為、ぜひ再開できるように準備をしてほしい。

11 国際交流 ※学校から必要がある項目として提示された場合



学校関係者評価

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1) 項目1：理念・目的・育成人材像

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4	4
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	4
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	4
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	4

2) 項目2：学校運営

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4	4
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	4
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	4
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4	4
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	3	4
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4	4
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	4

3) 項目3：教育活動

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	4
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	4
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	4
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	4	4
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	4	4
3-9-4	授業評価を実施しているか	4	4

3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
3-10-2	各種科目試験は適切に行えているか	4	4
3-10-3	講義や実習の運営は適切に行えているか	4	4
3-10-4	学籍管理は適切に行えているか	4	4
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	4
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	4
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	4
3-12-2	教員の資質向上への取組みを行っているか	4	4
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	4	4

4) 項目 4 : 学修成果

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4	4
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	4
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	4

5) 項目 5 : 学生支援

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	4
5-17-1	退学率の低減が図られているか	4	4
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4	4
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	4
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	4
5-19-3	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	4
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4	4
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	3	4
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	4
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	4

6) 項目 6 : 教育環境

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	4

6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	4
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	4
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4	4

7) 項目7：学生の募集と受け入れ

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3	4
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	3	4
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	4
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	4
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4	4

8) 項目8：財務

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	4
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	4
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	4
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4	4
8-30-1	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	4
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	4

9) 項目9：法令等の遵守

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	4
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	4
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	4
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4	4
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4	4
9-34-4	学校関係者評価結果を公表しているか	4	4
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	4

10) 項目10：社会貢献・地域貢献

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3	4